

東北3県におけるアナログ放送終了に向けた取組

平成23年12月21日

全国地上デジタル放送推進協議会

岩手県地上デジタル放送推進協議会

宮城県地上デジタル放送推進協議会

福島県地上デジタル放送推進協議会

社団法人デジタル放送推進協会

総務省東北総合通信局

東北3県におけるアナログ放送終了に向けた取組みについて

- 岩手、宮城、福島の3県におけるアナログ放送終了まで今月22日で残り100日となり、地デジ移行への最終段階に入った。
- 本年7月24日、44都道府県において、半世紀以上続いたアナログ放送からデジタル放送への完全移行が行われたが、これは、国、放送事業者を始めとして、メーカー、販売店、工事業者、地方自治体、デジタル放送推進協会などあらゆる関係者が一丸となって、「地デジが視聴できない世帯」を減らすための各種対策を講じ、国民の皆様のご理解を得ながら進めてきたものである。
- 来年3月31日にデジタル放送への完全移行が行われる岩手、宮城、福島の3県においても、住民の皆様が円滑にデジタル放送へ移行いただけるよう、本年7月の地上デジタル放送への完全移行への経験を活かしつつ、更に丁寧な対応を行っていく必要がある。
- 「新たな難視」対策や共聴施設の改修などの受信環境整備は本年内に予定どおり概ね対応が完了する見込みとなっている。また、いわゆる「サイレント層」を始めとする住民の皆様のデジタル対応をサポートできるよう、デジサポによる地デジ臨時相談コーナーの設置や戸別訪問、地デジボランティアによる地デジ対応の声かけ、低所得者への受信機の支援、放送を始めとする各種媒体を通じた周知等の対応をきめ細かに実施していく。
- 残り100日あらゆる関係者のご協力をいただきながら、住民の皆様へ丁寧に対応を行うことにより、3県において円滑に完全デジタル化を達成する。

東北3県のデジタル化対策スケジュール

	対応状況	12月	1月	2月	3月	アナログ停波	4月～	備考
受信環境整備	新たな難視(恒久対策)、衛星対策 辺地共聴、受信障害共聴、集合住宅共聴 等の受信環境の整備	→	→	→	→	→	→	
チューナー支援					→	→	→	・NHK受信料全額免除 申込4.5万件 ※ ・非課税世帯: 申込0.3万件 ※ ※平成23年11月末
周知広報・関連イベントの開催	(放送による周知) ○常時告知スーパー、ローカル番組 による周知、ソフトテストの実施等 ○カウントダウン表示 (受信機普及の促進) ○「声かけ地デジ化大作戦」 ○新聞、ラジオ広告誌等による広報 ○その他	12/22 100日前 ▽ 12/22～25 I期 → 12/18 福島イベント 12/22 岩手、宮城イベント 12/23～25 量販店頭でのPR	1/31 2か月前 ▽ → 1/31 2か月前イベント →	2/10 50日前 ▽ → 1/30～2/29 II期 → 1/31 2か月前イベント →	2/29 1か月前 ▽ → 2/29 1か月前イベント →	→ 3/12～ カウントダウン表示 → 3/12～4/8 III期 →	→	各県で地デジ声かけ隊を 結成し、街頭での周知や 宣伝カーによる呼びかけ 各地で実施 (デジサポが実施)
コールセンター デジサポ	○コールセンターによる電話相談対 応の実施 ○地デジボランティアによる声かけ ○巡回相談の実施 ○臨時相談コーナーの実施 ○個別訪問の実施	→ 年末年始コール受付 →	→ 約100団体、1.4万人規模で活動中 → 巡回相談実施(17拠点程度、地域巡回15チーム) →	→ → → 市町村単位の臨時相談コーナー設置(約50か所・対面型) →	→ → → →	→ 24時間コール受付 (アナログ停波前後2週間) →	→	

東北3県における受信環境整備状況（11月末現在）

- 11月末までの対策はほぼ計画に沿って実施。対策残数約6千世帯については、12月中に約4千世帯強の対策が見込まれ、年内に概ね対策完了するという目標は達成。
- なお、残りの共聴施設等の対策については、ケーブル幹線の復旧待ちである等の原因によるものであり、現時点において、年度内の対策完了の見込みを得ている。

【単位：世帯】

		受信環境整備の対策別内訳						
		新たな難視 (恒久対策)	暫定衛星 対策	辺地共聴	受信障害 対策共聴	集合住宅 共聴	戸建て 住宅	
総数		12,335	47,153	43,003 (890施設)	275,972 (3,324施設)	634,000 (90,240施設)	1,247,000	
対策済数		9,913	46,781	41,511 (860施設)	275,579 (3,316施設)	633,913 (90,227施設)	1,245,801	
(対策率)		(80.3%)	(99.2%)	(96.5%)	(99.9%)	(99.9%)	(99.9%)	
対策残数	5,965	2,422	372	1,492 (30施設)	393 (8施設)	87 (13施設)	1,199	
	岩手県	3,480	940	28	1,380 (28施設)	完了	完了	1,132
	宮城県	1,671	1,424	23	2 (1施設)	148 (4施設)	7 (1施設)	67
	福島県	814	58	321	110 (1施設)	245 (4施設)	80 (12施設)	完了
※8月末の対策残数		30,589	6,104	13,058	2,639 (61施設)	3,120 (34施設)	498 (60施設)	5,170

東北3県におけるアナログ放送終了に向けた放送対応について

【基本的な方針】

岩手、宮城、福島3県のアナログ放送が2012年3月31日に円滑に終了できるよう、これまでもアナログ放送終了に向け、放送事業者による放送画面を通じた視聴者への周知等の取組みを実施してきたが、今後この取組みをより効果的なものとなるよう進めていくこととする。また、国は、この取組みが円滑に実施されるよう環境整備に取り組んでいくこととする。

このため、国、日本放送協会及び民間放送事業者により構成される全国地上デジタル放送推進協議会(全国協)は、以下の取組事項を中心とした取組みを行っていくことを基本的な方針とする。全国協の構成員である日本放送協会及び岩手、宮城、福島3県の民間放送事業者は、国やデジサポ等の他の主体による取組みとも連携しつつ、本方針に沿って視聴者のデジタル対応の促進に取り組むこととする。

取組1：告知スーパーの常時運用（2011年5月から順次再開）

アナログ放送で、画面の上下の黒い帯を活用した「常時告知スーパー」を2011年5月から順次再開し表示している。
アナログ放送終了時期や低所得者向けチューナー支援の周知等視聴者に必要な情報を放送事業者の工夫による効果的な告知内容により引き続き提供(参考1参照)

取組2：放送番組による理解醸成（随時実施中）

3月31日アナログ放送終了を告知するPRスポットを各局において放送中。各県ごとに効果的に視聴者にアピールするようなPRスポットを制作し放送する。また、定時番組内においても視聴者の関心に応じて積極的に取り上げる。
さらに、「声かけ地デジ化大作戦」などの広報関連イベント報道を通じて視聴者・県民の関心を喚起する。

取組3：ソフトテストの実施（2012年1月以降随時実施）

デジタル放送への対応を効果的に促すため、アナログ放送終了の2か月前、1か月前等の節目の日等に、アナログ放送のみ、又はデジタル放送とアナログ放送共通に、一定の時間ブルーバックや砂嵐画面を表示する取組み(「ソフトテスト」)を実施(参考2参照)

取組4：カウントダウン表示の実施（2012年3月12日以降実施）

3月31日のアナログ放送終了を周知徹底するため、3月12日以降アナログ放送画面において、アナログ放送終了日までの残日数を明示するカウントダウンスーパーを原則として常時表示(参考3参照)

取組5：アナログ放送の完全停波（2012年3月31日）

3月31日正午からブルーバックの「お知らせ画面」に全面移行し、同日24時までにアナログ放送を終了(停波)(参考4参照)

■画面表示例



【告知内容例】

- ・アナログ放送は来年3月31日に終了します デジサポ〇〇 XXXX-XX-XXXX
 - ・地デジ化お早めに！ デジサポ〇〇 XXX-XXXX-XXXX
 - ・デジサポ〇〇では、2月〇日から、〇〇市役所、〇〇町役場において臨時相談コーナーを設置いたしますので、ご活用下さい。
 - ・アナログ放送終了間際はアンテナ等の工事が集中します。早めのご準備を。 デジサポ〇〇 XXXX-XX-XXXX
- ※告知内容を組み合わせて表示する場合あり

ソフトテストの実施

■ 画面遷移例

〔デジタル放送・アナログ放送で
テスト画面が異なる例〕



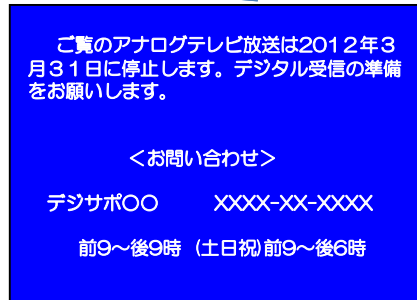
「デジタル放送」
をご覧の方は…

ソフトテスト実施

「アナログ放送」
をご覧の方は…



引き続き番組をご覧になれます

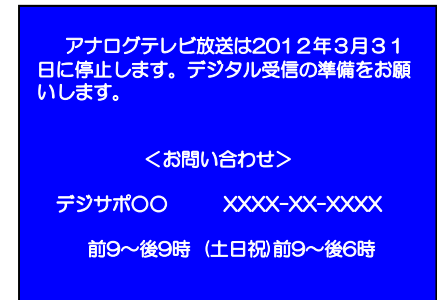


ブルーバックや砂嵐が
一定時間放映されます

〔デジタル放送・アナログ放送
ともテスト画面が同じ例〕



ソフトテスト実施



ブルーバックや砂嵐が
一定時間放映されます

※ソフトテスト:アナログ放送のみ、又はデジタル放送とアナログ放送に共通して、一定の時間ブルーバックや砂嵐画面を表示し、デジタル放送への対応を効果的に促すもの。

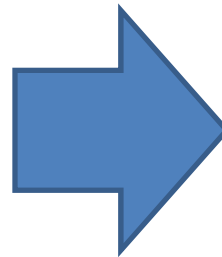
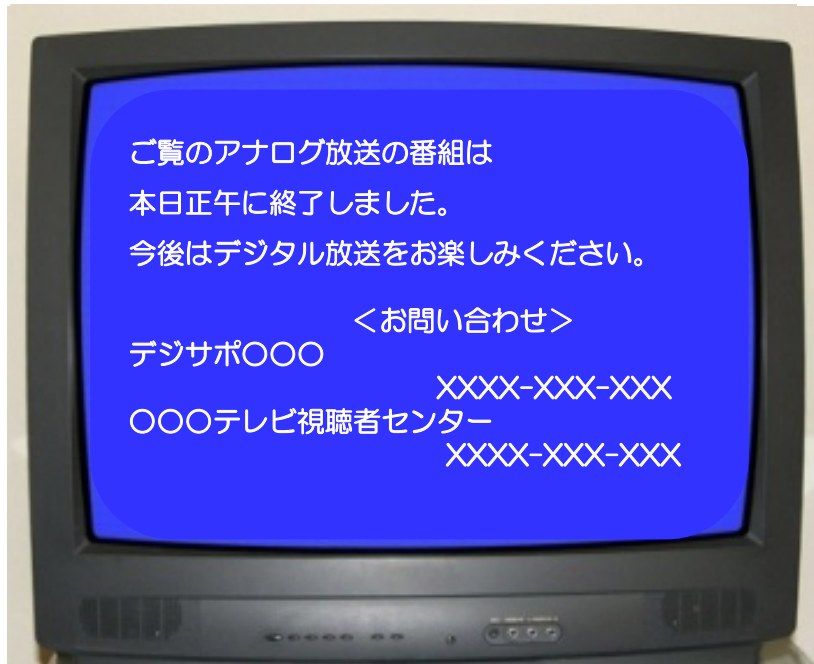
■ 画面表示例



■画面遷移例

2012年3月31日正午～
ブルーバックの「お知らせ画面」に全面移行

2012年3月31日
24時までに停波



※ 「お知らせ画面」の表示内容については今後検討

東北3県における未対応世帯等への最終サポート体制

地デジコールセンター

- ・アナログ放送終了に向け、順次相談体制を強化。(停波後は順次縮小)
- ・前後2週間程度は24時間体制で運用(その他の期間は、平日9-21時、土日祝日9-18時)



地デジ臨時相談コーナー

- ・2012年2月中旬～4月までの約2ヶ月間、運用
- ・東北3県の市町村役場等に設置
- ・対面による窓口での個別の相談・サポート(約50ヶ所)、デジサポや販売店等への取り次ぎ、臨時相談コーナーからの訪問対応、低所得者へのチューナー即時給付等
- ・2011年10月～2012年2月上旬の間、巡回して相談コーナーを設置。



高齢者、障がい者等の未対応世帯



※「地デジボランティア」や「地デジ臨時相談コーナー」等で、専門的な相談があった場合には、各地のデジサポへ取り次ぎ、地デジサポーター等から専門的に支援。

地デジボランティア活動

- ・2011年1月から展開(約100団体・1.4万人規模)
- ・地域で活動している団体に協力いただく(ボーイスカウト、母親クラブ、自治体等関係者、ボランティア団体、民生委員等)
- ・地デジ対応を促す声かけ・念押しや資料の配付
- ・お困りの世帯をデジサポへ御案内

声かけ、資料配付等

専門的支援



地デジサポーターによる戸別訪問

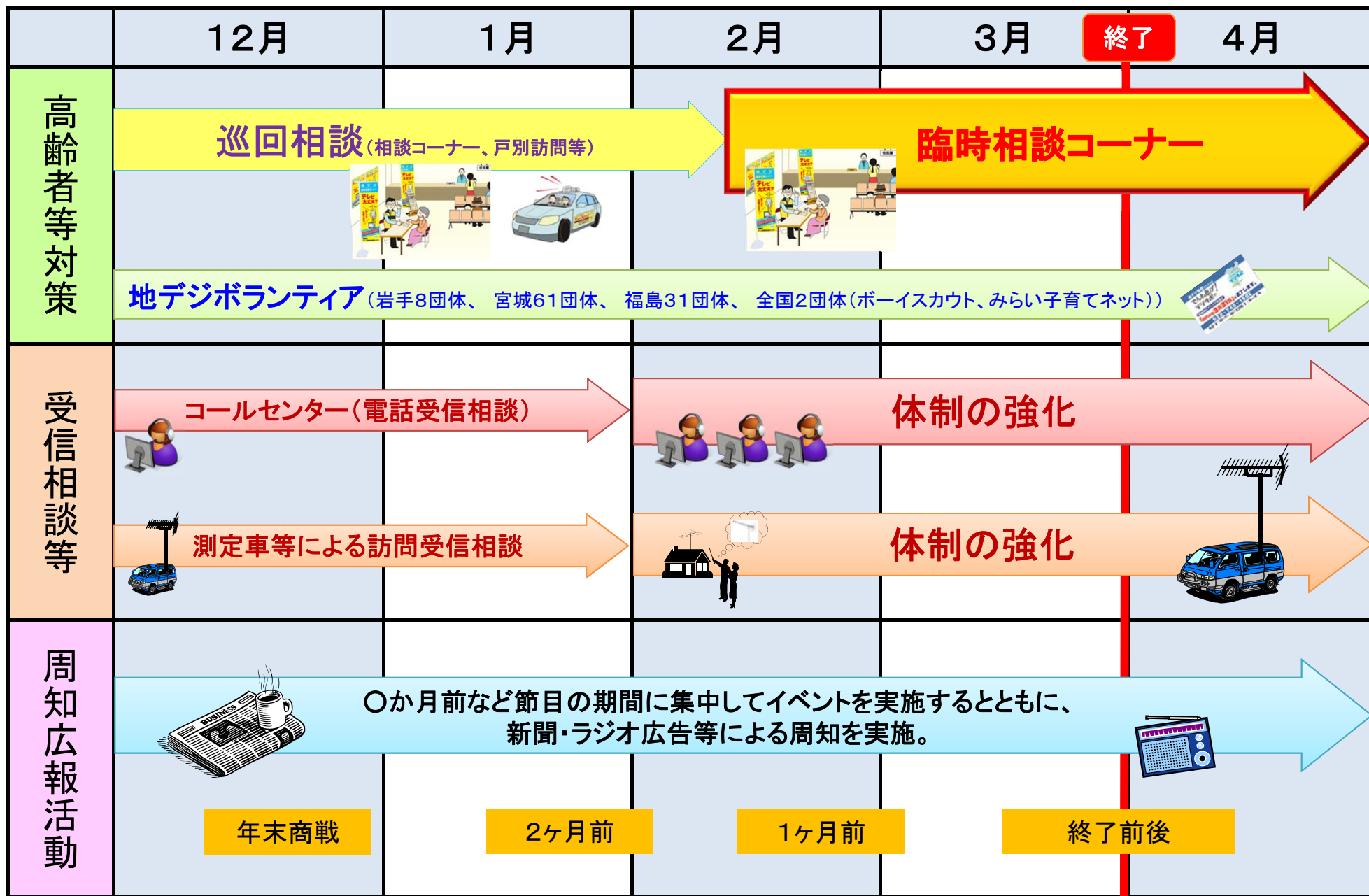
- ・地域の電器店、ケーブルテレビ事業者が「地デジサポーター」(約700人)として、デジタル化をサポート
- ・21・22年度で合計6.3万世帯実施



デジサポ(デジサポ岩手・デジサポ宮城・デジサポ福島)を拠点に活動を実施。

東北3県のデジサポ活動予定

(参考1)



巡回相談・臨時相談コーナー概要

(参考2)

		巡回相談	臨時相談コーナー
		平成23年10月～平成24年1月	平成24年2月～4月
概要	実施方法 ・ 実施内容	①自治体の拠点を巡回し、対面相談を実施 ・地デジに関する受信相談 ・簡易チューナーの無償給付の申請支援等 ②地域巡回活動 ・デジサポカーによる地デジ化の声かけ ・デマンド戸別訪問 等	①自治体の拠点到相談コーナーを設置し、定点での対面相談を実施 ・地デジに関する受信相談 ・簡易チューナー無償給付の申請支援等 ②臨時相談コーナーから、機動的に戸別訪問 ・アナログ放送終了後は、未受信世帯に対する丁寧なサポートを展開
規模※ ・ 開催地	岩手県 (33市町村)	自治体拠点5ヶ所、地域巡回5チーム程度	14ヶ所(対面。このほか簡易も調整中)
	宮城県 (35市町村)	自治体拠点9ヶ所、地域巡回3チーム程度	20ヶ所(対面。このほか簡易も調整中)
	福島県 (59市町村)	自治体拠点3ヶ所、地域巡回7チーム程度	17ヶ所(対面。このほか簡易も調整中)

※規模は、今後の実施状況により変動があり得る。

「声かけ地デジ化大作戦」実施概要

タイトル	岩手県： 岩手のチカラ テレビのチカラ 声かけ地デジ化大作戦	宮城県： 宮城のチカラ テレビのチカラ 声かけ地デジ化大作戦	福島県： 福島のチカラ テレビのチカラ 声かけ地デジ化大作戦
-------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

実施エリア 東北3県全域(岩手県・宮城県・福島県)

実施時期(案) 2011年12月22日(木)～2012年4月8日(日)

第1期)	2011年12月22日(木)～12月25日(日)	※アナログ放送100日前～クリスマス・年末商戦 受信機普及
第2期)	2012年 1月30日(月)～2月29日(水)	※アナログ放送終了認知促進 臨時相談コーナー活用促進
第3期)	2012年 3月12日(月)～4月 8日(日)	※終了前後の最終レスキュー

実施主体 主催：総務省 Dpa 共催：日本民間放送連盟 日本放送協会

協力 各県地上デジタル放送推進協議会

- 実施概要**
- (1)声かけ隊を結成：各県毎に「声かけ隊」を結成。(声かけ隊長を任命)
 - (2)街宣車による声かけ：専用車を各県1台用意 街宣を中心とした展開
 - (3)駅前・商店街などでの拠点声かけ：人の集まる場所等での積極的な展開
 - (4)自治体と連携した拠点声かけ：市町村役場などでのPR展開
 - (5)カウントダウン節目のイベント：100日前、2カ月前、50日前などカウントダウン節目にちなんだイベント展開
 - (6)既存イベントへの参加：イベントへの参加によるPR展開
 - (7)駆け込み窓口の周知：電気店・家電量販店・ローソンなどの協力を得て相談窓口の周知徹底



声かけ隊街宣車(岩手県仕様)